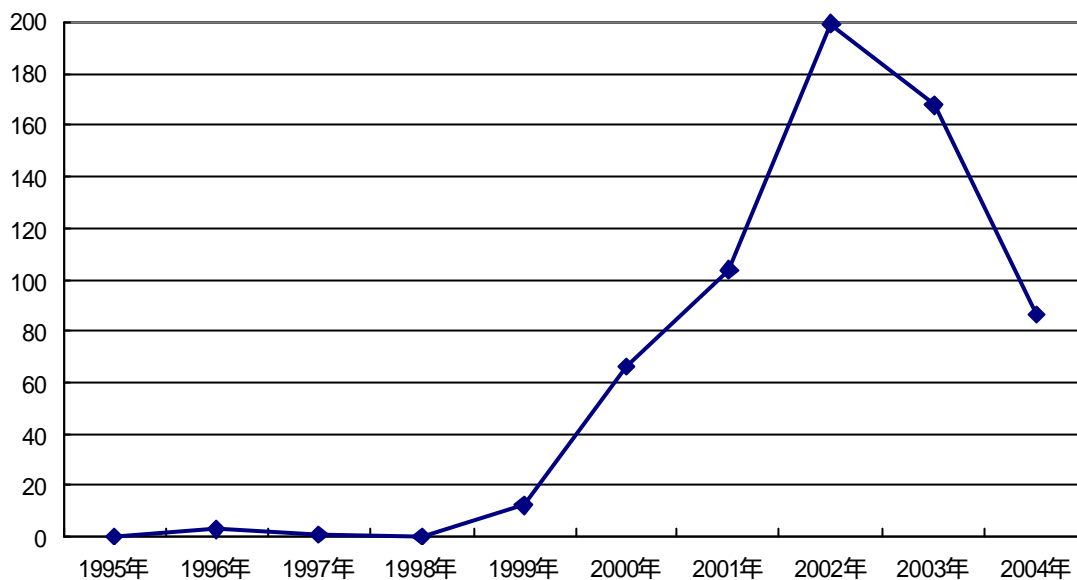


図：朝日新聞全国版および地方版に掲載された地域通貨関連記事の数  
 (1995年から2004年9月末まで)



注：「地域通貨」「地域貨幣」「地域マネー」「ローカル貨幣」「ローカル通貨」「エコマネー」「ボランティア通貨」もしくは個別の名称である「タイムダラー」「時間銀行」という単語が一度でも掲載された記事の数（ただし明らかにユーロなどの別の意味で「地域通貨」が用いられている記事は勘定せず。また同じ内容の記事が複数ある場合は1本と勘定。）

< 傾向 >

- ・1999年から2001年前半にかけては、「エコマネー」「地域通貨」どちらも使用されていたが、その後「地域通貨（エコマネー）」や「地域通貨」のみの記事が増えている。
- ・マスコミ的関心は、おそらく2002年がピークで、今後は徐々に減退していくものと思われる。ただし、地域通貨の実践数は、現在もまだ増加傾向にあり、ピーク時までの登りでは記事数と実践数がほぼ比例関係にあったが、今後は関係性は少ないであろう。
- ・朝日新聞以外の全国紙もほぼ同様の傾向を示している。

作成) 泉留維 20041011